

別紙

I. 事業評価総括表(令和4年度)

(単位:円)

番号	措置名	交付金事業の名称	交付金事業者名又は間接交付金事業者名	交付金事業に要した経費	交付金充当額	備考
1						
2						
3						
4						
5	公共用施設に係る整備、維持補修又は維持運営等措置	下呂市消防署運営事業	下呂市	54,820,000	54,820,000	88,792,200
6						
7						
8						

II. 事業評価個表(令和4年度)

番号	措置名	交付金事業の名称				
5	公共用施設に係る整備、維持補修又は維持運営等措置	下呂市消防署運営事業				
交付金事業者名又は間接交付金事業者名		下呂市				
交付金事業実施場所		下呂市森ほか2件				
交付金事業の概要		下呂市消防本部中消防署、北消防署及び南消防署に勤務する消防士57名の人件費6ヶ月分(令和4年7月～令和4年12月) 消防及び救急の対象範囲は起状にとんだ広域なエリアのため、下呂市を管轄する消防署運営に必要な人件費に電源立地地域対策交付金を活用しています。				
交付金事業に関係する主要政策・施策とその目標		<p>【主要政策・施策】</p> <p>下呂市第2次総合計画(平成27年度～令和6年度) 基本計画(基本施策) 3.あんしん 3.あんしん-災害等の危機に備え地域の安全性を高めます- 3.救急・救命 市民・消防・医療機関が一体となり命を繋ぎます 救急救命処置の啓発</p> <p>【目標】</p> <p>苦しんでいる人等へ積極的に声を掛け、AED等を使用し応急手当てができる市民が増えているまち</p>				
事業開始年度		平成27年度	事業終了(予定)年度	令和6年度		
事業期間の設定理由		下呂市第2次総合計画の終期まで				
交付金事業の成果目標及び成果実績		成果目標	成果指標	単位	評価年度 令和5年度	
		救命講習受講者数 下呂市人口の10%	救命講習受講者数率= 受講者数÷下呂市人口 ×100	成果実績	%	3
				目標値	%	10
				達成度	%	30.0
		評価年度の設定理由				
		毎年度の事業改善を図るため、事業実施翌年度に評価を実施				
		交付金事業の定性的な成果及び評価等				
		<p>本交付金の活用により、下呂市消防本部中消防署、北消防署、南消防署の消防職員57名の6か月分の人件費を確保することができました。</p> <p>当市では、下呂市定員適正化計画(令和3年度から令和7年度)に基づき、組織の年齢構成に配慮し職員を採用しています。下呂市消防本部においても安定した消防力の維持を目的とし、若手から熟練までバランスのとれた職員を配置することで、年齢構成の平準化に努めました。</p> <p>また、熟練消防職員が若手消防職員に対し、消防機械器具の適切な取扱いや迅速な救命処置の訓練等を行い、下呂市消防本部管内の地域住民の生活の安全を確保することができました。</p> <p>救命講習につきまして、コロナ禍での開催となったため、受講者の確保が困難でした。しかし、市民が安心して受講できるように、令和3年度に作成したコロナ禍での指導方針及び感染防止対策等の感染予防基準を示した要綱に則り、感染防止対策を徹底するよう配慮したうえで、救命講習会の実施回数を増やしたことで、昨年度より多くの受講者を確保することができました。</p> <p>今後も、地域住民の生活の安全を確保するため、下呂市内消防署への消防職員の適正な配置を行っていきます。中長期的には、下呂市定員適正化計画(令和3年度～令和7年度)に合わせて取組を継続することとし、計画の見直しに合せて改めて評価を実施します。</p>				
		評価に係る第三者機関等の活用の有無				
		無				

交付金事業の活動指標及び活動実績	活動指標		単位	令和2年度	令和3年度	令和4年度
	下呂市の雇用量(雇用人数(人)) ※活動見込みは下呂市定員適正化計画に基づく		活動実績	人	94	91
		活動見込	人	88	87	89
		達成度	%	106.8	104.6	102.2
交付金事業の総事業費等	令和2年度	令和3年度	令和4年度	備考		
総事業費	69,467,400	56,424,600	88,792,200			
交付金充当額	23,801,000	30,917,000	54,820,000			
うち文部科学省分	0	0	0			
うち経済産業省分	23,801,000	30,917,000	54,820,000			
交付金事業の契約の概要						
契約の目的		契約の方法	契約の相手方	契約金額		
消防職員人件費		雇用	消防職員57名	88,792,200		
				計		
				88,792,200		
交付金事業の担当課室	消防本部中消防署、北消防署、南消防署					
交付金事業の評価課室	まちづくり推進部企画課					

別紙

I. 事業評価総括表(令和4年度)

(単位:円)

番号	措置名	交付金事業の名称	交付金事業者名又は間接交付金事業者名	交付金事業に要した経費	交付金充当額	備考
1	公共用施設に係る整備、維持補修又は維持運営等措置	小型動力ポンプ購入事業	下呂市	6,800,000	6,800,000	7,260,000

(備考)事業が二つ以上の場合は必要に応じ欄を設けること。

II. 事業評価個表(令和4年度)

番号	措置名	交付金事業の名称				
1	公共用施設に係る整備、維持補修又は維持運営等措置	小型動力ポンプ購入事業				
交付金事業者名又は間接交付金事業者名		下呂市				
交付金事業実施場所		下呂市金山町菅田大谷戸地内、他2件				
交付金事業の概要		下呂市消防団金山方面隊第1分団第2部(金山地区菅田大谷戸)、下呂方面隊第4分団第1部(下呂地区久野川)、下呂方面隊第2分団第4部(下呂地区御厩野)に配備されている小型動力ポンプが、エンジンの不調及び不具合による機能低下が著しいため、電源立地地域対策交付金を活用して小型動力ポンプ3台を更新します。				
交付金事業に係る主要政策・施策とその目標		<p>【主要政策・施策】</p> <p>下呂市第2次総合計画(平成27年度～令和6年度)</p> <p>基本計画(基本施策)3. あんしん</p> <p>3. あんしん—災害等の危機に備え地域の安全性を高めます—</p> <p>2 消防 消防力を強化し火災などの災害による被害を最小限にとどめます</p> <p>消防施設の効率的な配備</p> <p>【目標】</p> <p>消防施設(防火水槽や消防詰所の整備等)の拡充によって災害対応力の向上が図られたまち</p>				
事業開始年度		平成27年度	事業終了(予定)年度	令和6年度		
事業期間の設定理由		下呂市第2次総合計画の終期まで				
交付金事業の成果目標及び成果実績		成果目標	成果指標	単位	評価年度 令和4年度	
		消防団管理分 小型動力ポンプ 18年以上経過した設備の割合 0% (下呂市消防機械器具整備計画)	消防団管理分 小型動力ポンプ 18年未満の設備 (台数(台))	成果実績	台	43
				目標値	台	43
				達成度	%	100.0
		評価年度の設定理由				
毎年度の事業改善を図るため、事業実施年度に評価を実施						
交付金事業の定性的な成果及び評価等						
<p>小型動力ポンプ3台を更新し、地域防災の中心となる消防団員の不安を払拭することで、迅速かつ確実な初期消火が可能となりました。</p> <p>下呂市では下呂市消防設備整備計画に基づき、非常備消防の機械器具の更新を行っています。器具の適正な管理により、令和4年度は下呂市において非常時の消防機器の大きな不具合は発生しておりません。</p> <p>器具の更新に活用できる予算の削減など財政的な課題もある中で、今年度も交付金事業により器具の更新を行うことができ、これまでの積み重ねもあって、成果目標を達成することができましたが、来年度以降も順次更新が必要となる設備が出てくる状況です。</p> <p>現状を踏まえ、既存器具の適正な整備の実施とともに、随時器具の更新を行うことで地域防災体制の向上を図ります。</p>						
評価に係る第三者機関等の活用の有無						
無						

交付金事業の活動指標及び活動実績	活動指標		単位	令和2年度	令和3年度	令和4年度	
	消防団管理分 小型動力ポンプ 更新台数(台)		活動実績	台	2	2	3
			活動見込	台	2	2	3
			達成度	%	100.0	100.0	100.0
交付金事業の総事業費等		令和2年度	令和3年度	令和4年度	備考		
総事業費		4,565,000	4,576,000	7,260,000			
交付金充当額		4,270,000	4,270,000	6,800,000			
うち文部科学省分		0	0	0			
うち経済産業省分		4,270,000	4,270,000	6,800,000			
交付金事業の契約の概要							
契約の目的		契約の方法		契約の相手方		契約金額	
小型動力ポンプ3台の購入		指名競争入札		丸新消防株式会社(高山市)		7,260,000	
計						7,260,000	
交付金事業の担当課室		消防本部消防総務課					
交付金事業の評価課室		まちづくり推進部企画課					